



## 大垣市に 要望書を提出

～市民の生活を守る緊急の18項目～

9月15日「2010年度大垣市予算に関する要望書」を大垣市長に提出しました。民主党中心の鳩山内閣が9月16日に誕生しました。これまでの自・公の「国民いじめの政治」から「国民生活優先の政治」に大きく変えようではありませんか。日本共産党は「垣老」の継続、医療費の窓口の減免制度の導入等の実現をめざします。

市議会議員

笹田トヨ子

### 子どもたちの健やかな成長のために

1. 子どもの医療費助成制度について、通院も中学3年生まで無料にしてください。
2. 少人数学級の更なる推進を。また、1学年1クラスの小規模学校であっても「35人学級」を実施してください。
3. 地区センターの新築及び改築時には子育て支援活動の拠点として児童館的な施設も併設してください。
4. 幼稚園化については大規模園や住民無視の統廃合はやめてください。
5. 障害者福祉に関して
  - ・ひまわり学園等の障害乳幼児の療育について無償にしてください。
  - ・特別支援学校の児童生徒の通えるデイサービス（留守家庭児童教室）を大垣市内につくってください。

### お年よりの介護と医療の充実のために

6. 介護保険に関して
  - ・低所得者に対して、介護保険料および利用料の市独自軽減措置を求めます。
  - ・要支援者に対してもベッドの貸し出しを求めます。
  - ・若年性認知症や比較的若い脳血管障害の方の行き場がありません。この方々を対象としてデイサービス等を検討してください。
7. 高齢者世帯等に対して、火災報知機の設置費用を助成してください。
8. 国の政策いかににかかわらず、大垣市老人医療費助成制度（垣老）で高齢者の医療費窓口負担1割を堅持してください。
9. 高齢者等に対して、肺炎球菌予防接種費用の助成を求めます。
10. 国民健康保険について
  - ・生活保護基準レベルの被保険者については、保険料の免除を求めます。
  - ・生活困窮者等に対する医療費の一部負担減免制度を設けてください。
  - ・申請減免や医療費の一部負担減免にかかる費用は国保会計ではなく、一般会計からの繰り入れで対応してください。

### 大垣市民病院の充実のために

11. 大垣市民病院に関して
  - ・看護配置を7：1にするため、看護師の大幅増員を求めます。そして、新卒看護師などの研修制度を充実させ、看護師の質向上に努めてください。
  - ・精神科の早期再開を求めます。
  - ・病診連携を密に行い、安心して転院や在宅療養が行えるよう配慮してください。
  - ・救急外来の対応について・・・苦情委員会（仮称）などを設けきめ細かな配慮を。
12. 市民病院を退院した患者さんが引き続き機能回復ができるよう在宅リハビリの充実を求めます。

### 地域活性化のための提案

13. 総合交通政策の検討を
  - 高齢化社会に対応した交通弱者の足の確保、環境問題の配慮、中心市街地活性化を交通対策等
14. 地産地消の更なる推進を。せめて学校給食の食材の自給率を増やしてください。
15. 中小業者に対しても公共事業の発注を。そのために小工事希望者登録制度の活用を求めます。
16. 荒崎地域の水害対策について、洗堰がある限り集中豪雨のときは、洗堰からの越流の可能性はあり、住宅地に浸水しないための対策を求めます。
17. 議員、および市幹部などの公費による年功序列的、論功行賞的な海外視察の廃止を求めます。
18. 失業者や廃業等により生活困窮に陥った人の住民税について免除や猶予の制度を求めます。